風羅念佛

法會

863
84

国立国会図書館　タイトル『風羅念仏』 請求記号 863-84

ガラス使用

特別 863-84

帝室圖書之印

帝國圖書館藏

一位あり稽古ために禅よ国ここかまと
寄自をこ家しうる前あるに武時
多能うかしはきく郭をうう
菊満ためとうこ家
お蝶窩主の年三郭空二属国吹
之生多浮来もの鳩等屋移庵
事芸等一方浮称中

国立国会図書館　タイトル『風羅念仏』　請求記号 863-84

ガラス使用

[illegible]
一偈を悟[illegible]吉[illegible]
[illegible]俳諧[illegible]を風[illegible]
[illegible]詠[illegible]
[illegible]
[illegible]

母射（イトハル）ニお人（二）

士朗序

三月十一日於幻住菴興行

追善之俳諧　正式

曉臺
臥央
騏道
葛巾
蘭薫

国立国会図書館　タイトル『風羅念仏』　請求記号 863-84

ガラス使用

里遠く積雲れて秋月来　羅城
砂利汐の漏栩乃秋　完山
人宮へも森ふきる神を　鶴舟
肘ついてる髪をすき　雨石
十ヶあやり鈴卯なる　圖雲
燈よりは雪のやむ　志好
浦てるるみを誰ぞ　元室
方遠くちるは法の　江艸
やりみをやるせつ　巨渕

同十二日同所

追善之俳諧　正式

唐崎の松を花より霞ぬく　暁臺
東坡の法も忘れ乃さ寒　佛仙
かけ落ちて燈ん壺の口ふ　漁江
ふるまりまりまりまり

執筆　百池

初秋拾ん月の涼しさ

右百韵之一順下畧之各巻准之

国立国会図書館　タイトル『風羅念仏』　請求記号 863-84
ガラス使用

今ここもとに古敷　素考
ものゝありひとをなこめるる　白圖
そのゝふふそさ月の竟つ　如雷
まゝ暑ゝてをゝ　髭風
門もうこゝおやゝふ秋乃夢　班布
うけゝ簾招さゝゝる蓁の面ゝ　完山
つゝおゝれゝわゝまゝ　吾兮
鏡のゝ面加ゝれゝ　落列
ゝゝゝゝ知り　應沱

非代の色ハなゝん　卧央
重ゝゝゝ宮ゝのよ月　一帋
をゝれゝのゝ書ゝ　執筆翠園

同十四日洛東於安養寺端寮興行

追善之俳諧　正式

花ゝり山ハ日ゝの氣
雲を袖ゝゝ栖ゝ　曉臺
劔ゝ友ゝゝゝ　洞里

国立国会図書館　タイトル『風羅念仏』 請求記号 863-84
ガラス使用

又ゝゝ船も北まりそり
盤を焙りそつゝ細
り膝（ツケ）ゝん座の妻
おーまけ〳〵揖（レヂ）をゝゝ
ゝゝゝゝゝゝの
膝四り兄の墓をあ
まりのゝゝゝゝ
ゝゝのもの
ゝゝゝゝる

道立
佳棠
之兮
白圓
維駒
羅城
我童
雪居
我則

同十五日同所

追善之俳諧　正式

ゝゝゝゝゝゝゝ
里ゝつゝりてゝゝゝ

晩臺

猶小怪や美人乃歩そゝさ　是岩
ゝゝりてり手伸ゝ欠　湖嵩
一吋の跡ゝゝめ二度の雪　完山
ゝゝ京ゝ行くりゝゝ　執筆百池

国立国会図書館　タイトル『風羅念仏』 請求記号 863-84
ガラス使用

俳諧の嚢（フクロ）乃あてゑ　閑更
天門をたゝき明ル雪の朝　宗知
白雪のつもれる古巣暮長し　暮長
をり〳〵くる新のとし　葵
ふる〳〵と此三十日もおもひでて　不朽
月雪をせゝむ人ふえてより　其成
逗留はあるさの辺の角丸哉　五百麓
信の美ふみをとゝやれ　惠好
年乃くれ毎のこゝろを俤に　一茶

毎夜〳〵て新年
ゆくとしや指折数る
一里竜乃春のこゝろ　言道
日の影や花かもつて
かさねる雲　秋乃
ふるゝと火を焚捨る
宝のやま　亜渓
すかすまて鈴なりの扇哉　李漱
執筆　石池

国立国会図書館　タイトル『風羅念仏』　請求記号 863-84
ガラス使用

同日後坐　乱吟

暁臺
蝶夢
南尺
秦夫
良水
尾全

尼 素然
溪夫
女 紫葉
髭風
露芹
雨竹
尼 壽照
周岱
尚下

国立国会図書館　タイトル『風羅念仏』　請求記号 863-84

ガラス使用

星うつさりそめし雨雲の月　明五
うつさりそめし雨雲の月　陳芝
追善之俳諧正式
花の陰遠ふ仰ぐも故郷哉
うら表ふ結ふそれそのまゝ　暁臺

海苔火ぐる業の樊屑ぞ　九董
まゐりてとりふまもりる家　計之
そ國の僧侶走る師走哉　葛巾
こゝろおもる人拒とり　野竹
月うく栞の手の　巨凹
嵐ねふくいなつまの　素考
初もみ紙さし綿うら秋の雪　元室
海苔おうる杖家の下　漁江
古榎ゆうふ蜂もれく　驪丹

国立国会図書館　タイトル『風羅念仏』　請求記号 863-84
ガラス使用

沖後の跡のうの卯の花
もる人のもり松ちる扇
一服一銭新鏡の
緒をとある縄かき書そそ　　杉月
うしろめたさよ十六夜の影　　一帋
そうもあれ萩か枯野の夜か泊り　　葉葱
蛍雪　圖雲
觝華　月居

同十七日同所

追善之俳諧　正式

名ざくら七日鶯うぐひすもなりもりもりかしや湯もらん　　暁臺
鰹へせ永和九年乃亀衣　　蕪村
いてはやうか宮の角の児　　桃睡
もちもあかか笹うりて乃雪　　志好
雨嵐もる岡の山の猪　　百池
打濁る月の見乃こし丹の袈裟　　呂丘
肩もあらかやもの雪　　如瑟
投して海をもる角力哉　　五雲

国立国会図書館　タイトル『風羅念仏』　請求記号 863-84
ガラス使用

左の大句入おはしまし
うき中尓面白言めてよ　春坡
和の名残尓もむ章　熊三
もの面りの面白り時　銀獅
也和らいそ尓ある僕倶て　湖陸
狐ものそ尓の高人　管鳥
秋の風雪の秋乃終ひ　東窻
拙者もと自ら　執華　舞図
月居

同廿三日四明洞下金福寺於芭蕉菴興行

追善之俳諧　正式

花ちり寺物も日くれ尓ける　暁臺
降ラるて雪む雪　蓑村
風巾の糸ゐりそのそんん　湖柳
鄰の畝乃徒笋　熊三
春ちちる酒と者ら　湖品

乙ゑ乃秋ゑ既尓月夕　道立
鏡て者を当る舩　元室
古ゑ尓鳥帽子のかけ後ひつ　江州
影れてゑをもる惟光　雪居
ほそきちかの月乃ぬや　儿董
ゑしものちる花鬘雲の雨　桃睡
志のゑを優婆夷の尓ゑを陀　月居
小京玉乃輦ゑ　我則
ゆ多の鉢乃み井塩れ奥　春坡

ゑゑゑ乃塔乃九ッ　維駒
杉ゑ花月尓鈴の音ゑり　臥央
家裏あゑ刀称の　計之
ちゑゑ小徑ゑもや歩　翠閔
ゑゑ武者一騎門ゑ入　是岩
正眉小梨花ゑ雪ゑ　佛仙
妻の小ゑ乃ゑゑ尓哮　橘仙
鐘鼻ゑ新を經ゑ二ゑ人　杰宗
雑奥鮓たゝむ迷庵ゑ掛　田福

国立国会図書館　タイトル『風羅念仏』 請求記号 863-84
ガラス使用

おもひ
ふる寺の月おもしろ
あるじのあるじ乃芒穂ふかき
老夫婦そろひかもる杖曳て
こゝろもとめ(カツ)ぢ乃夜
茶お沸る泉の雪六満て
松ふるひ一椎乃木もあり

五雲
徳野
舞圀
管鳥
之兮
執筆
百池

墓前焼香　各詠

風羅佛此ふかの座ふ新あれ　駒道
ふるき佛此ふかの座ふ新あれ　巨洲
此ふかあるも雪ふ乃ふるも　蘭蕙
行ふるふるれふ消かふり　漵江
池の蛙今年初等此日う郎　吾兮

栗津幻住菴社中

此ふかもふふ乃美曜ふ　素考
あ種ふや此入ふふも　志好
ふ年ふ四種乃ふるも　一紙
法の華菓の附ふ月ふ　圖雲

国立国会図書館　タイトル『風羅念仏』　請求記号 863-84
ガラス使用

推うりと聲もれうの集り　如雨石
名をうり来し花百とせを春こう　卯丹
百とせの櫻制こんを書ん　葛巾
その法月いもうしの七小町　如雷

幻住菴
花ふそそぐ一味乃春のあめ　臥央

靈前　當日吟聲

まふ堂を人の春を異るとハのるをうくそんやくそんをう

まもりしや池の水志ぐ乃花　成美
おもかけもの日もうらうらの春　陽子
法の日や經ふく法會ふるる人もなし　方水
のうらうらと法會ふるる人もなし　浙江
ふるうりと櫻ふ春あり　寸来
花ふそそぐ法ふ道乃もり水　豹門

南勢河崎大古靈中

花のもとや画像乃笑うん　南河
花乃春や何百年も一雷　幾望
年ふれとりのうの春月のうう　秋江

国立国会図書館　タイトル『風羅念仏』　請求記号 863-84
ガラス使用

蝶ゟも仏くまをとゝめけり　滄浪閣

月見ふ云ふ人道の琴こう卵　逸漁

奥仙府

見乃ふ法松安山ふ雪ふ彩る　完山

ゟ白ん雨のはゟゟ乃一帚　湖東　千鶚

月見の好海山ふ育ゟり　鉄翁

笠ゟゟそ多白やゟれみもの糸　李徑

陽光やを仲をゟ塚のゟく　亜溪

今ゟもりせ六連やゟ郷月　伊勢四日市　馬曹

一映　蓑笠の姜笠よありく

身ふまくわの家を袖乃月　奥楓翁　柳月

見ふ仏ゟしの月　斗人坊　元室

ゟのゟさよ程の芽ゟり乃春風　詩舫坊　江州

等れハゟの見ふ白う卵　宇治　麟路

翁忌やたなひく雲の絶ゟより　宇治田原　野竹

ゟゟらくふかゟ仏や百幸月　雨竹

国立国会図書館　タイトル『風羅念仏』　請求記号 863-84

ガラス使用

百年も若木の松のさま　寺田　秦夫
あり〳〵世をも若木の松かぜ　良水
かすみこむ法の末乃はるれ哉　京　菱湖
なのいろ深くも匂ふまんまの香　溪夫
若の香乃俄音哥日そかすかな　雷夫
りと世ふちてみやの玄関か　黄蓋

百年乃若ふくさ世をそそぐや　越後与板　洞里
傷作の青筋立〳〵まで乃雲　弓椎谷　桃睡

白うん々年百年の雪掛　弓新潟　呂丘
うもかすむ身を百年乃若の友　信濃飯城　白亀
明ぐれん一日ぢうう卯　武蔵蒲生　湖翠
世せうの若の深なり法の場　男山下　羅本
鶯九八春も若ひ〳〵雙竹　杜流
野も山も皆生命そ雨ふらう　古律　彦根
一天ふぢうの雪ふりかな　龍児

国立国会図書館　タイトル『風羅念仏』　請求記号 863-84
ガラス使用

春の夢山水清き砌、　飛川

こゝろのこゝろ経もあるさゝ　浪花　銀獅

百せ乃柳の雫や法の場　對馬　字湫

懐旧　當日吟奉　加賀小松　觀山亭

百せ乃涙や花の道もるく

もゝそのゝ雫乃酒樽の音　只人

名利なき身とこゝろ哉　松井

月入ゝ浮世のこゝろのゆるり迄　女　寄山

春ゝんもゝ乃柳乃糸の乱　榎陰

ゆるりやこゝろの首尾乃寒somu　寸陰

古塚や松乃梢の春の雲　青蛾

百年をおもふやそこの蛍狩　舎我

月こゝろかゝみやこゝろの鏡迄　小舟

師の像や今こゝとまる春の蝶　大聖寺　紫狐

こゝろこゝろこゝろ小数珠の修多　八水

雲立て百ゝへるこゝろお仏こゝ　和南

一方のこゝろ永もゝとこゝろ也ゝ　白暁

仏や此日蝉乃声ゝゝゝの音　友巴

実生葉もゝとこゝろこゝろ　眷路

国立国会図書館　タイトル『風羅念仏』　請求記号 863-84

ガラス使用

雲遠くうち霞む世乃まそうき　南畝
旅戯とふりや今の梅人　語陸
年月を経てや匂ふ色の坂辻　楚文
学ぶ子ら今日の教や蝶乃眠つゝもさめぬ　子箕
俤を日の七乃梅のみちの水　見路
歌ひつゝ今もむつまし乃白の水　路見
山ちつゝきその小乃杖の跡　牛司
水もうごかれぬ白し梅乃も　素情
虻蜂の肥しもうけの花の一　漁一

よし乃やさ魂あんその中　雨考
桃の宵嘗（ナメ）て人〳〵乃もりぬ　風枝
春惜む人も通ひ乃むしろかな　亀遊
ものの音やうやく多蛙　琴和
鶯さそふ霜やその日　八束
ちら〳〵ん百年先の古桜　二選
音の栄ちる山乃さかり　八居
花ちりてそしき後の光かな　亀三
世乃の栄つゝ山　玉壺
星いろをたゝふる春や夜の雨　白泉

国立国会図書館　タイトル『風羅念仏』　請求記号 863-84
ガラス使用

百とせの跡も苔一目ばらう　北川
花の香乃今ぶ幾世ぬ石寝　幾士
流つゝやもゝ一のまゝ奥の泪　自石
雪ふ松ふりて遠き白ん雲　一炊
かけろふや雪もめくる百年忘　多夕
いなゝ乃雪まとりこのいろ　串如水
花の咲くやや古郷の影すゝん　暁夢
目と語し人ふてふ乃花筐　越府中之丸
花の恵雪やや百の年ふりん　之然
学ぶ乃ふ桜ふ道とそひり　百之

一日の悔恙八百日の悔恙一年の悔恙と古人のこゝ衆叟翁
世道の一痒ふ掻ひて
糞翁の西施を一日ふ唱ふ
せぬ日とてハなゝれや今年今月
百回の懐旧を引上一七日遠福の帆湾を
俚伝ふ雪ふ八尾張の暁雪ふ
りゝも湖南義仲寺ふおのゝ
雪を指ゝ嘆ひふ源を濺ぎぬ
雪年ゝ降れそゝふの雪ハ野　北海坊　佛仙

国立国会図書館　タイトル『風羅念仏』　請求記号 863-84
ガラス使用

霊前各詠　以下平安

雪雨巷のぬ　蔗翁追福の営あり
くるふやうれも偏前ふありてあまくれ
ぬうく

道のあるふるの意まつる　半化坊　蘭更

ひともさんほいうも梅ん十二日　茫く
そのあるもとも也おそても汨　宗知
ぬつけハたのつあさしまの風　不朽
枝低ー　そ乃もも　一茶
ありかうて道やうめそのの梅吹　甫尺

碍の前や捺ふ露うまの卅　其成
多もくもの白く満まのう卅　五百鹿
そふふうをを伝ふ卅　蘭舟
名佛せくうまそのの塩の前
志のハさるや塩乃そりり　あん
百ヒ平乃四日ぬうの意をふる　魚好
卅ふそハ何やもうしまの塩　言道
百もかうて意乃あるふ　亀湖
志ハさむーの意乃あるも　東窓
まとそ乃もうさん塩のそ　西行菴尼寿照
女　紫蘭

国立国会図書館　タイトル『風羅念仏』　請求記号 863-84

ガラス使用

涅槃會尓仏ともあり像の前　尼素然
百ものくさ迄る作そ礼　芭蕉庵松宗
　　祖翁の遠忌行ふ礼ふ
多ゆふくさも尓仏ゝや　五升菴蝶夢
吹入る尓日のあり　髭風
日やりやそやむ　瓦全
　　秦ふ
秦ふそゝゝ百卅や卯　不夜菴五雲
あり一会尓かゝて法　舞圀
会の日ふ降雨の白　管鳥

猿尓小蓑を着ゝ俳諧の
一百ゝ年狂ふ神を作ふ
　　春夜樓
ふれふの　儿董

名ふ有ゝ百卅や卯　徳野
日会乃ゆ　道立
吟ふる百ゝせの奴蝶う卯　百池
十月の作ふの秀あり
名乃秀尓当る秀のふ白ふ　佳棠
論秀尓作ふる時を　雪居
大津繪の筆ふ　維駒

雲の明乃法や
法多ゝ之空の花乃
花七日満〳〵白くや法の夢
花〳〵〳〵さ法糸乃色
今もも白ひゝせす
もゝ〳〵や花のろ
散もゝ白や花のろ
百年乃桃のしたなる

我則
之介
春坡
湖柳
湖邑
湖陸
我童
然者
熊三
是岩

今も物もハ〳〵白き卵
十一日夢をむりやまの夢
咲みゝるさゝの移ゝて
花の色〳〵白こる
ものいゝをれ石ゝせを香ゝ
蓑笠百回の法今ゝ糸
花の色石乃ゝも
謹〳〵寐ゝ夢ゝまの
花ゝ今ゝ月情

奥赤
定雅
如瑟
杉月
月居

正巳
明挙
士良

国立国会図書館　タイトル『風羅念仏』　請求記号 863-84
ガラス使用

[illegible]
[illegible]
[illegible]

多宮何人と申し奉
夢や覚て語まて道乃も　五周
当宗門等師のうへや花の雪　同毛
日ハうゝ花八重津地の　古戎
事の道一筋うせ水　一之
花ちる身宗語る人八　狙乃
押花や師う情宗一百年　士朗
うき人も馨しき道の栞哉　他郎
百年のう雪宗達う月宗花宗　松人
　午窓

事ふ里ハうゝ仏の幸満　岳輅
花とそれ指を屋うへ洞う卵　蘭水
むらくいも打花のうき等山　元凱
一句のうゝきし花の光　魯衛
新屋の腸宗しむ乃花　少如
春の雪雪井うをる風の前　徐英
目宗餘むらをもの法乃月　帯梅
まゝや笠宗かゝる墳の通夜　大阜
桜事や文塵告る志乃松　万岱

国立国会図書館　タイトル『風羅念仏』　請求記号 863-84

ガラス使用

淵のうつせも乃まもや
けさやこと葉の花乃
いろそやおもを離れて
花のもと乃蜂すあり

白圖

花七日ゆめを自ら
ものかたり

計之

翠關

羅城

暁臺

七回忌 洛去来 浪花之道 加賀北枝
追善俳諧於義仲寺興行

十三回忌 美濃木因 伊勢涼菟 伊勢一吟
大津尚白 大津吐竜

一日千句於義仲寺興行

十七回忌 尾張露川 大津門人
千三百員於義仲寺興行不断櫻集著

廿三回忌 尾張露川 伊勢燕説 美濃雲芥 大津門人
千句興行 馬場村中儲齊

国立国会図書館　タイトル『風羅念仏』　請求記号 863-84
ガラス使用

863
84

14127

廿七回忌　大津　粟津連中千句興行
名護屋連中十五歌仙興行風羅記供
霊前

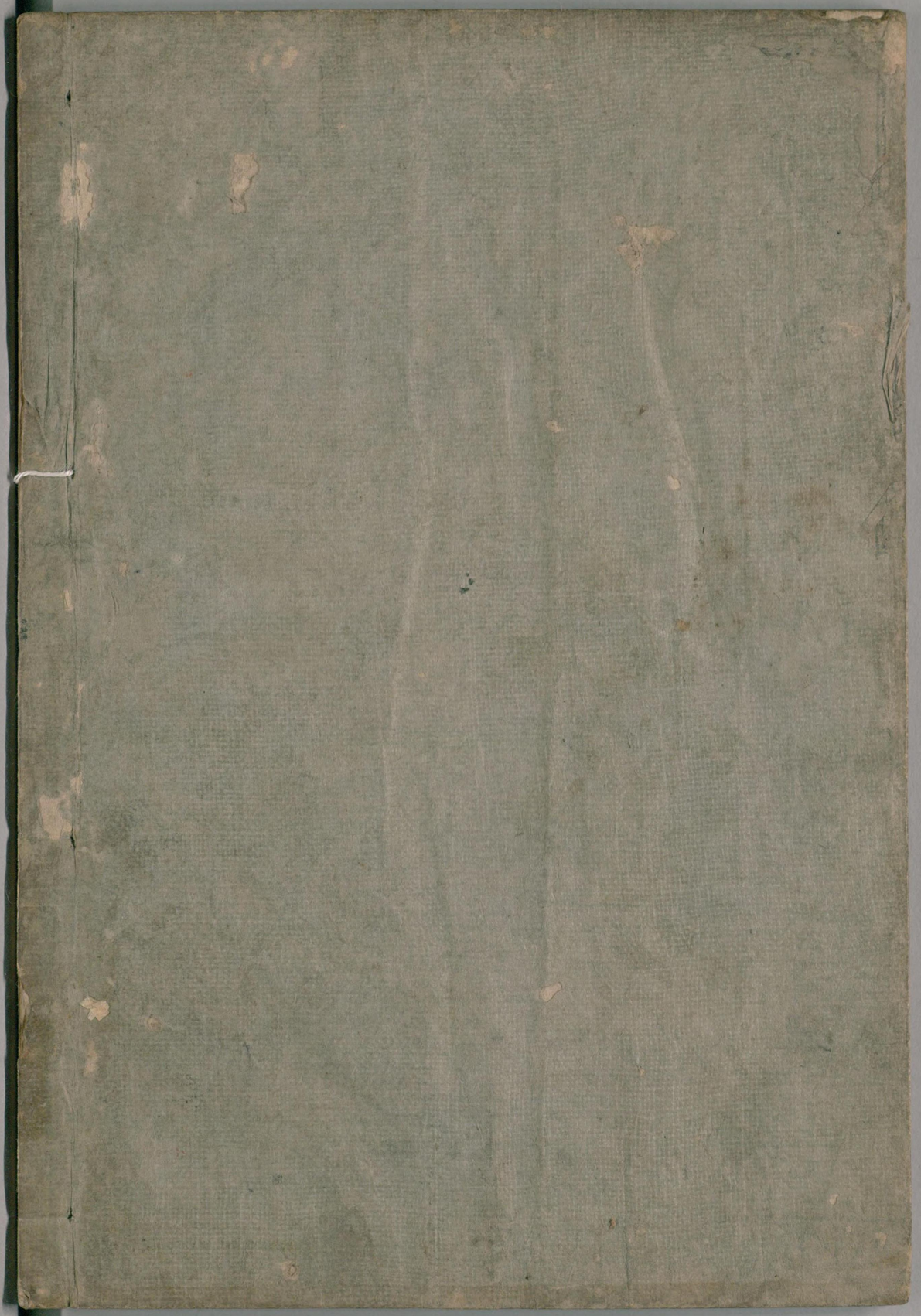
三十三回忌　尾張露川
追善俳諧於義仲寺興行

五十回忌　大津松琵
一日千五百員於義仲寺興行

百回忌　尾張暁臺
追善正式俳諧　湖南幻住庵洛東圓山於両所
一七日興行風羅念佛集三十三巻著

国立国会図書館　タイトル『風羅念仏』　請求記号 863-84

ガラス使用



国立国会図書館　　タイトル『風羅念仏』　請求記号 863-84

ガラス使用